

看護研究バックナンバー(内容紹介)

SEP
OCT

Vol.
45
No.
06

特集 | ケアリングが築く未来 国際ケアリング学会の成果

- [名誉会長講演] 私たちのヒューマニティの心に触れる 平和へのカリタスの道
Jean Watson / 監訳: 稲岡文昭 編集: 筒井真優美, 江本リナ
- [教育講演] ナラティブを通してケアリングの心を開く 1人の語り手は世界を形成する(ホビ族の言葉)
Christopher Johns / 監訳: 田村由美 編集: 筒井真優美, 江本リナ
- [教育講演] ナイチンゲールの遺産 ケアリングと平和に向けた統合看護・ホリスティック看護のサイエンスとアート Barbara Dossey / 監訳: 戸村道子 編集: 筒井真優美, 江本リナ
- [会長講演] 看護マネジメントにおけるケアリング 新道幸恵
- [教育講演] 看護教育におけるケアリングと平和 安酸史子

●特別記事

日本の医療分野における質的研究論文の検討(第2報)

研究法の選択とデータ収集 戈木クレイグヒル滋子, 三戸由恵, 関美佐

●研究報告

認知症高齢者の家族介護者に対するソフトマッサージ(タクティールケア)のストレス・介護負担の緩和、健康の回復に関する有効性の検討 鈴木みずえ, 三浦真澄, 鈴木初枝, 木本明恵, 江向洋子, 林辰弥

●連載

Words, words, words. 一学際的なダイアログをめざして⑤ 記述と規範 江藤裕之
看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・11 質的研究—分析の基礎
方法崇拜に陥らないために 田中美恵子, 坂下玲子

JUL
AUG

Vol.
45
No.
05

特集 | 北欧ケアとは何か 看護研究への示唆

- 北欧ケア研究のために もう1つの現象学的アプローチ 浜渦辰二
- 患者に焦点を当てることは生活世界に焦点を当てることである
ケア学というパースペクティブ カーリン・ダールベリ / 監訳: 浜渦辰二 翻訳: 川崎唯史
- 北欧ケアの思想的な拠り所 問いとしての「福祉」 竹之内裕文
- ホスピス・緩和ケアにおける生活世界ケア
スウェーデンとスコットランドのホスピス・緩和ケア病棟の視察を通して考えたこと 齊藤美恵

●特別記事

日本の医療分野における質的研究論文の検討(第1報)

論文数の推移と研究法の混同 戈木クレイグヒル滋子, 三戸由恵, 関美佐

●原著論文

小児病棟の組織文化と看護実践 患者が子どもであることによる困難さ 川名るり

●連載

Words, words, words. 一学際的なダイアログをめざして④

サイエンスとアート(その2) 江藤裕之

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・10 量的研究—分析の基礎(後編) 坂下玲子

Suppl.

Vol.
45
No.
04

特集 | 経験を記述する 現象学と質的研究

- 経験の編成を記述する 前田泰樹
- 経験を記述するための言語と論理 身体論からみた質的研究 村川治彦
- 経験を理解するという探究の経験を通しての記述 大久保功子
- 緩和ケア病棟における看取り 死の直後の実践経験 守田美奈子
- 看護学生の「患者理解」という経験に関する記述 ガダマーの解釈学を手がかりに 前川幸子
- うつ病という病いの経験を語ること / 記述すること 近田真美子
- HIV 感染した血友病患者の経験 経験の捉えなおしに焦点を当てて 大村佳代子
- 時間経験と協働実践の編成 急性期病棟の看護に注目して 西村ユミ, 前田泰樹
- 事象に示される通りに フィールドワークという実践 西村ユミ, 前田泰樹

●特別記事

質的研究の結果は一般化できないのか?

質的研究における一般化可能性

谷津裕子, 北素子

(増刊号)

